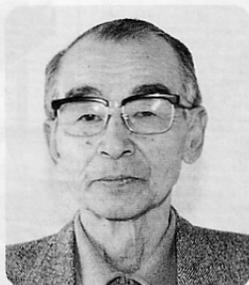


町と地域住民とのパイプ役

平成11年度  
行政協力委員  
決まる



工藤 弥三郎 会長

平成十一年度の金木町行政協力委員会総会が四月二十日、役場三階大会議室で開催され、会長に工藤弥三郎氏(金木)、副会長に小野元靖氏(金木)、須崎悠悦氏(嘉瀬)、今哲五郎氏(喜良市)が選出されました。

行政協力委員会は、町行政の円滑な運営と町民の福祉向上を図るため、各町内から推薦された方を町長が委嘱した委員で組織しております。

各地域の行政協力委員は次の通りです。

行政協力委員

\*印は会長 ◎は副会長 ○は常任委員

<p><b>【金木地区】</b></p> <p>本町 高橋 俊之                  栄町一区 西澤清一郎                  栄町二区 坂本 直弘                  田町 成田 新一                  南新町 白川 誠治                  上山道町 長尾 匡時                  駅裏団地 山本 精一                  ○ 中山道町一区 中谷 定雄                  中山道町二区 角田 由美                  ◎ 下山道町 小野 元靖                  美晴町一区 今 時彦                  美晴町二区 沢田 実                  昭和町一区 土岐 壽治                  ○ 昭和町二区 角田 金男                  神明町一区 阿部 久治                  神明町二区 斎藤 直好                  朝日町一区 工藤 初美                  朝日町二区 津島 信一                  北新町 中川 満男                  小川町一区 加賀谷正三                  ○ 小川町二区 木村不二男                  米町 棟方 亮逸                  川端町 津島 伸治                  寺町 藤元 昭造                  東芦野町 大橋 昭彦                  ○ 西芦野町 成田 国雄                  ○ 浦町 花田 榎五郎                  新富町 黒滝 清三                  若松町一区 小野フミエ                  若松町二区 秋元 治                  若松町三区 蒔田 明德                  若松町四区 対馬 テル                  ○ 見崎町 竹内 義道</p>			<p>三軒町 吉村 彦一                  上沢部 白川フミイ                  下沢部 白川 榎弘                  旭ヶ丘一区 北沢 清一                  旭ヶ丘二区 原田 博嗣                  旭ヶ丘三区 梶浦 晴二                  大東ヶ丘 増田 敏                  雲雀ヶ丘団地 原田 勇                  第二金木団地 工藤 陽子                  * 芦野団地一区 工藤弥三郎                  芦野団地二区 成田 善蔵                  朝日団地 工藤 勇一                  上蒔田 田中 伸明                  下蒔田 徳田 政雄                  神原 三上 正                  上藤枝 小山内正一                  ○ 中藤枝 工藤武一郎                  下藤枝 工藤 金光                  ○ 湯の川 工藤 源次                  林下 白川 テイ子                  向道 田中 富雄                  女坂 秋元 年一                  上宇田野1区 泉谷 正幸                  上宇田野2区 泉谷 イキ                  下宇田野1区 浅利 清美                  下宇田野2区 泉谷志津子</p>			<p>○ 下派立 鎌田 善光                  上新町 今 哲三                  下新町 今 兼春                  上昭和町 平川 久治                  下昭和町 大川 健一                  本町 土岐 安政                  ○ 冷水 今 喜代治                  車町 山中喜代司                  ○ 畑中 山中 忠                  ◎ 後町 須崎 悠悦                  上古町 鳴海 恭治                  ○ 下古町 白崎 秀一                  新誠町 秋元 男茶                  新堤町一区 山中 幸男                  新堤町二区 阿部 竹美                  上鍛冶町 澤田 繁市                  下鍛冶町 須崎ハツエ                  上中柏木 杉山 勝蔵                  ○ 下中柏木 原田 清光</p>		
<p><b>【嘉瀬地区】</b></p> <p>雲雀野団地 福永 宏                  東町 齋藤 彦三                  上小栗崎 伊藤 さち                  ○ 中小栗崎 伊藤 清治                  ○ 下小栗崎 伊藤レイ子                  上派立 花田 明                  中派立 今 平農</p>			<p><b>【喜良市地区】</b></p> <p>○ 更生部落 加藤 康博                  ○ 西岩見町 元石 美枝                  東岩見町 宮崎 与太                  林町 今 清比古                  野崎 佐藤 政一                  北本町 米谷 勝昭                  下派立 米谷 健二                  上派立 桑田 正義                  ○ 南本町 阿部 信一                  上柏木 松村 伸一                  下柏木 中村 利宗                  ○ 下町 今 勝廣                  ○ 川端町 古川 さつ                  ◎ 双葉町 今 哲五郎</p>					

# まちのびと

◀汚れを落として機体も  
会員たちもにっこり



## さわやかに航空機清掃

### 金木町自衛隊協力会

四月二十日、芦野公園内に設置してあるT-2展示航空機（超音速高等練習機）の清掃を金木町自衛隊協力会（会長 沢田茂）が行いました。金木町が防衛庁から貸与を受けて六年目になりますが、桜まつりを前に、きれいになった航空機を見てもらおうと、この日集まった会員約二十名は、全長一七・八五m、全高

四・三九mの大きな機体を磨くため、はしごにのぼり、専用の油性洗剤とペーパータオルで汚れの目立つところを丁寧に拭き取ったり、周辺のゴミ拾いや草取りに汗を流しました。きれいになった機体を前に、会員たちは「これからも、整備を続けて大事にしていきたい」と話していました。

## 森林の歴史を詳しく紹介

### 歴史民俗資料館

### リニューアルオープン

平成十年度より休館していた、歴史民俗資料館が桜まつり初日に合わせた四月二十九日、森林資料室を設け、リニューアルオープンしました。以前の太宰治資料室が資料移転に伴い空き室となったため、林業で発展した当町の歴史を広く知ってもらう目的で森林資料室を開設しました。

同室には、のこぎりやかまなど山仕事の道具や曲げ物細工「ワツパ」の展示、津軽森林鉄道の歩みなどが分かりやすくパネル紹介されています。また、桜まつり期間中には、かつて柵割り競技会で入賞した桑田重雄さんによる柵割りの実演会が行われ、今では珍しい職人の技を披露しています。まつり期間中の無料見学会時の入館者数は六百八十人余り。

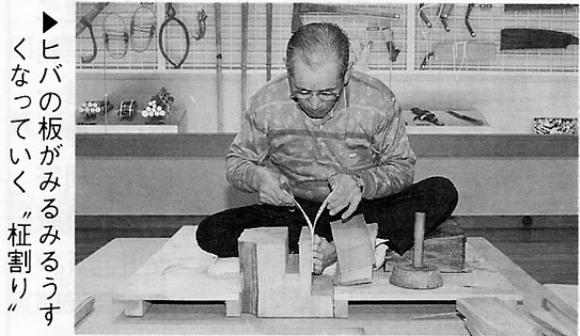
## 事故なし！ 非行なし！

### みんなで明るい町づくり

春の地域安全運動総決起大会が四月二十日、役場前駐車場で開かれ、防犯指導隊員や少年補導協力員、保育所、幼稚園の児童等二百人余りが参加して行われました。

大会では、金木地区防犯協会長の鳴海町長が「事故と非行の無い安全な町を目指しましょう」とあいさつし、続いて山口康男金木警察署長が激

励の言葉を述べました。同地区防犯指導隊の山中昌子嘉瀬婦人部長が「明るく住み良い町づくりのため、一致団結して地域安全活動を実践します」と決意表明を述べた後、参加者たちは金木中、金木南中のブラスバンド部員を先頭にパレードしながら、防犯チラシや花の種を配布し地域安全のPRに努めました。



▶ヒバの板がみるみるうすくなっていく「柵割り」

▶ぼくもわたしも  
がんばります



# 「太宰ゆかりの地」に案内標柱設置



▶標柱の設置作業を行なった会員の皆さん

四月二十二日、金木町太宰会（会長 木下巽）は、一般町民や観光客に太宰ゆかりの地をもっと知ってもらおうと、町内四箇所案内標柱を設置しました。

この標柱は、昨年九月より設置計画が進められ、同会理事の大橋雅明さんより寄贈された標柱に会員たちがペンキを塗り、大橋竹峰さんが揮毫した、すべて手づくりです。当日は会員二十二名が設置作業を行いました。

木下会長は「今年度中にも

う二基設置する予定で、できれば今後も続けて、太宰ゆかりの地・文学街道（ロード）を整備していきたいものです」と話していました。

今回設置した場所は次のとおりです。

- ◇作品名「思ひ出」標柱
- 芦野公園入り口
- 明治高等小学校跡  
（現・金木小プール付近）
- 金木第一尋常小学校跡  
（現・金木病院）
- ◇作品名「津軽」標柱
- 芦野公園旧駅舎前

# 「厚生年金・国民年金積立金」

## 還元融資

「厚生年金・国民年金積立金」還元融資資金は、国が地域住民の福祉の増進と生活の向上を図るため、皆さんが加入している厚生年金や国民年金の積立金の一部を地方公共団体に還元融資している資金です。

当町でも、川倉地区にある老人デイサービスセンターが、二二二、五二二千円のうち、

一二五、五〇〇千円の融資を受けて建設されました。

また、中里町にある特別養護老人ホーム静和園（金木町、中里町、小泊村、市浦村の共同出資）が進めていた、旧館給排水設備改修工事（雑排水浄化槽設置ほか）も、四八、〇九〇千円のうち、一三、〇〇〇千円の還元融資を受け、このほど完了しました。



# 国民年金情報

## 年金額が上がりました



国民年金を受けている皆さんの年金額が四月から変わりました。

国民年金制度では、前年度の物価の上昇に応じて年金額の改定を行います。

この完全自動物価スライド制により、公的年金の価格は将来にわたって目減りするのがなく安心なのです。

新しい年金額での受け取りは六月（老齢福祉年金は八月）の支払い分からです。

	年 額 (円)	月 額 (円)
老齢基礎年金	804,200	67,016
障害基礎年金(1級)	1,005,300	83,775
〃 (2級)	804,200	67,016
遺族基礎年金(子1人)	1,035,600	86,300
	基本 804,200	
	加算 231,400	
	(3人目以降) 77,100	
老齢福祉年金		
(全部支給)	412,000	34,333
(一部支給)	317,300	26,441

# 太宰をしのぶ ⑬

## 太宰治と生家 (4)

金木町太宰會々長  
木下 巽

津島家の出自について太宰さんは、『苦惱の年鑑』に次のように述べています。

へ私の生まれた家には、誇るべき系圖も何も無い。どこからか流れて来て、この津軽の北端に土着した百姓が、私たちの祖先なのに違ひない。私は、無智の、食ふや食はずの貧農の子孫である。私の家が多少でも青森縣下に、名を知られはじめたのは、曾祖父惣助の時代からであった。とあるように、太宰の生家は、明治の初めころは、それほど津軽に鳴り響いた旧家でもなく、新興地主であったといわれます。大地主として県下に実力を示すようになったのは、明治三十八年に没した太宰さんの曾祖父惣助の代からです。曾祖父惣助は、嘉瀬の山中久五郎の次男として生まれ、安政六年(一八五九)に数え年二十五歳で津島家の婿養子になります。

### 初代源右衛門

津島家の家系を記している文書には、『檀家累代記・回答書・津島家歴史』の三種類あります。

特に明治二十九年に記された『津島家歴史』によりますと、先祖の中で初代源右衛門あたりから現実的になり、詳細に記録されています。

初代源右衛門は幼時から商業を好み、七歳で奉公にでます。十九歳の時、中里に婿養子に行きますが離縁。金木に帰り金木川にかかる大橋のたもとに仲買のような商法の質流古着商を始めます。

「無智の、食ふや食はずの貧農」というよりも、才智にたけ利にさとい、世の流れを鋭くつかむ「農商」であったということです。没年は安永七年(一七七八)とも、天明三年(一七八三)とも言われています。

### 代々の惣助

初代源右衛門には先妻の間に三人、後妻との間に四人の子供がいます。後妻との間に生まれ



▲三代目惣助 太宰の會祖父 嘉瀬の山中久五郎の次男として入る「写真：新潮日本文芸」より

た二番目男児が初代惣助です。野呂喜右衛門の妹(二女?)を妻に迎え、荒物の店を構え同時に豆腐家業も始めます。豆腐、コンニャクをへ夜ノ明ケヌ内二、五釜位アケルナリ」というように、それらを仕込んだ肴や荒物と共に木箱に入れて背負い、足を棒にして行商に出ます。このころから金貸しもしながら、少

しずつ農地を入手したと思われる。嘉永元年(一八四八)没、七十五歳位であったと推測されます。初代惣助の長男永太郎が、「惣助」と改名し、二代目を四十二歳のときに継ぎます。先代と同じく豆腐、荒物等の行商をし、金貸しをしながら、借金のカタに手を入れた農地をしつか

り守り、慶応三年(一八六七)没と記録されています。この二代目惣助には三男二女があったのですが、二、三男は早逝、長男惣四郎が跡を継ぎます。だが、その惣四郎も若くして安政四年(一八五七)に世を去ります。惣四郎の忘れ形見が、太宰の祖母長女いしです。

### 曾祖父惣助

それより十二年先、弘化二年(一八四五)に二代目惣助の先妻が病死。惣助は、鰥ヶ沢から館山長太郎の娘かねを後妻に迎え、安政元年に惣五郎という男児が誕生。だが、頼りにしていた長男の惣四郎が死亡、惣五郎はまだ幼い。そこで金木の大橋家に嫁いだのが、女児を出産したところ夫婦と死別していた二代目惣助の長女きさが、子供と共に津島家にもどって来て婿養子を迎えます。それが山中勇之助、のちの三代目惣助、太宰さんの曾祖父です。

そのころ、養父惣助数え五十三歳、後妻かね四十三歳、その子惣五郎六歳、妻きさ二十八歳、妻の連れ子よそ八歳。それに惣四郎の遺児いし三歳。若い婿養子の肩には大変な重みであったと思うのです。二十五歳の勇之

助は、ひたすら働き続けます。婿養子を迎えて八年たった慶応三年(一八六七)六月七日、二代目惣助が他界。勇之助が家督を相続し、三代目惣助を襲名します。数え三十三歳、明治維新の前の年のことでした。曾祖父三代目惣助は、先代と違って油と荒物の行商を始めます。大きな引き出しがついた木の箱を背負って、食料の菜種油や白絞油、びんつけ油、灯油(菜種油)等の生活必需品の他、櫛、かんざし、足袋のコハゼ等を入れ、さらに呉服(古着)も加えて行商、勿論金貸しもするなど、へ日夜刻苦勉強シテ各種ノ商業ヲ営ミ、日々繁盛ノ域ニ達シ、とあり、明治維新後は村で二番目の資産家、小地主にのし上がっていきます。

へ昨年私は甲府市のお城の傍の古本屋で明治初年の紳士録をひらいて見たら、その曾祖父の実に田舎くさいまさしく百姓姿の写真が掲載されてみた。と、太宰さんは『苦惱の年鑑』に、曾祖父についてこう書いています。が、その田舎くさい、百姓姿の惣助こそが、地主貴族津島家の礎をつくり、多額納税者で貴族院議員有資格者の一人までになったのです。

## 2度目の金木病院勤務

院長 杉山 讓



この度四月一日付で公立金木病院長に就任しました杉山です。これまで広報かなぎの「金木病院カルテ」に掲載された記事を見ますと、病気や健康に関する内容がほとんどです。私も専門分野の病気のことを考えました。新任院長の第一回目の記事ということで、まず自己紹介をやらせて頂くことに致しました。金木病院勤務は私にとりましては、これが二回目になります。一回目は昭和四十一年から四十二年にかけての一年半、外科医員として勤務致しました。当時の病院の建物は鉄骨、一部木造モルタル造りの二階建、別棟に伝染病棟がありました。院長は弘前大学第二外科では私の先輩に当たる鳴海弘泰先生でした。常勤医は八人で、現在とは交通事情が違うせい、全員家族と一緒に住んでいました。今回も家内と二人で金木に参りました。前回は金木在住中に家族が一人増えましたが、今回は

その可能性はありません。病院医師住宅が足りないため弘大農場近くの借家に入っていましたので、金木駅そばの津鉄の踏切を横切って病院に通勤していました。

手術を中心に全身麻酔手術数が五百例近くで、多忙な毎日をごしました。昭和五十一年十月からは第二外科講師として、当時の大内清太教授に食道から十二指腸まで、主に胃癌、胃・十二指腸潰瘍、食道癌などを手術する上部消化管グループのチーフとして診療や臨床研究を任せられました。その後医学部助教授に昇任、昭和五十九年四月からは医療技術短期大学教授としてこの三月まで勤務致しました。

食道、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓疾患などを対象にする消化器外科を中心に、甲状腺、乳腺、ヘルニアなどの一般外科が専門です。生体肝臓移植手術では、テレビや新聞上で皆様には何度かお目にかかっていたかも知れません。専門分野の診療面では、最新、最高レベルの外科治療を提供出来るものと確信しております。専門外の特長な分野や大規模な医療器械を要する手術を除けば、ほとんどの疾患が金木病院で治療可能と思います。

昔に比べ金木病院の外観は、とても立派になっていました。これはどの病院でも同様です。しかし、問題は中身です。非力ではあります。患者さんに信頼され、愛される病院になるよう努力する所存ですので、地域の皆様の温かいご支援をお願い致します。最後になりましたが、この三月から小児科は佐々木伸也先生が、四月から整形外科は若井裕司先生が、それぞれ常勤医として勤務しておりますのでご利用下さい。但し、整形外科は診療日が多少変則的ですので、来院前に病院にご確認下さい。整形外科医不在時は、外科で対応致します。また、眼科は毎週月曜日と金曜日、それに奇数週の土曜日、皮膚科は水曜日に診療を行っていますので、併せてご利用下さい。

手術を中心にして全身麻酔手術数が五百例近くで、多忙な毎日をごしました。昭和五十一年十月からは第二外科講師として、当時の大内清太教授に食道から十二指腸まで、主に胃癌、胃・十二指腸潰瘍、食道癌などを手術する上部消化管グループのチーフとして診療や臨床研究を任せられました。その後医学部助教授に昇任、昭和五十九年四月からは医療技術短期大学教授としてこの三月まで勤務致しました。

手術を中心にして全身麻酔手術数が五百例近くで、多忙な毎日をごしました。昭和五十一年十月からは第二外科講師として、当時の大内清太教授に食道から十二指腸まで、主に胃癌、胃・十二指腸潰瘍、食道癌などを手術する上部消化管グループのチーフとして診療や臨床研究を任せられました。その後医学部助教授に昇任、昭和五十九年四月からは医療技術短期大学教授としてこの三月まで勤務致しました。

手術を中心にして全身麻酔手術数が五百例近くで、多忙な毎日をごしました。昭和五十一年十月からは第二外科講師として、当時の大内清太教授に食道から十二指腸まで、主に胃癌、胃・十二指腸潰瘍、食道癌などを手術する上部消化管グループのチーフとして診療や臨床研究を任せられました。その後医学部助教授に昇任、昭和五十九年四月からは医療技術短期大学教授としてこの三月まで勤務致しました。

手術を中心にして全身麻酔手術数が五百例近くで、多忙な毎日をごしました。昭和五十一年十月からは第二外科講師として、当時の大内清太教授に食道から十二指腸まで、主に胃癌、胃・十二指腸潰瘍、食道癌などを手術する上部消化管グループのチーフとして診療や臨床研究を任せられました。その後医学部助教授に昇任、昭和五十九年四月からは医療技術短期大学教授としてこの三月まで勤務致しました。

手術を中心にして全身麻酔手術数が五百例近くで、多忙な毎日をごしました。昭和五十一年十月からは第二外科講師として、当時の大内清太教授に食道から十二指腸まで、主に胃癌、胃・十二指腸潰瘍、食道癌などを手術する上部消化管グループのチーフとして診療や臨床研究を任せられました。その後医学部助教授に昇任、昭和五十九年四月からは医療技術短期大学教授としてこの三月まで勤務致しました。

# 戸籍の窓

四月届出分

## おめでとう

山 中 快斗 (純二) 金 木  
 藤 卷 恵 (裕二) 金 木  
 奈良岡 春香 (邦康) 金 木  
 今 慶史 (晴央) 喜良市  
 石岡 弥也 (直樹) 金 木  
 古川 稜人 (純二) 金 木

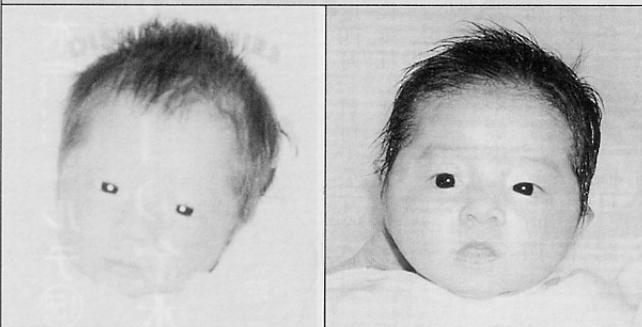
## おしあわせに

前田 野々香 (孝樹) 金 木  
 成田 萌華 (一俊) 藤 枝  
 藤元 泰志 (由光) 喜良市  
 (野村しのぶ (良二) 金 木  
 (吉崎 聖志 (鉄郎) 金 木  
 (赤坂こずえ (壽一) 金 木  
 (蒔田 正信 (明德) 金 木  
 (田村 恵子 (得美) 金 木  
 斎藤 重清 (81才) 嘉 木  
 竹内 米作 (75才) 金 木

## おくやみ

白川 春男 (67才) 金 木  
 鎌田 夕マ (75才) 嘉 木  
 桑田 長太郎 (89才) 喜良市  
 前田 清三 (74才) 神 原  
 山中 ミヒ (78才) 嘉 木  
 山 中 貞橘 (76才) 喜良市  
 白川 慎一 (81才) 金 木  
 藤元 良造 (65才) 金 木  
 脇神 功勇 (59才) 喜良市  
 黒川 ソネ (96才) 喜良市  
 今 幸雄 (51才) 喜良市  
 白川 ツヨ (81才) 金 木  
 野宮 武雄 (66才) 金 木  
 吉田 ミセ (91才) 嘉 木  
 徳田 萬之丈 (89才) 金 木  
 葛西 つよ (102才) 喜良市

## はじめまして

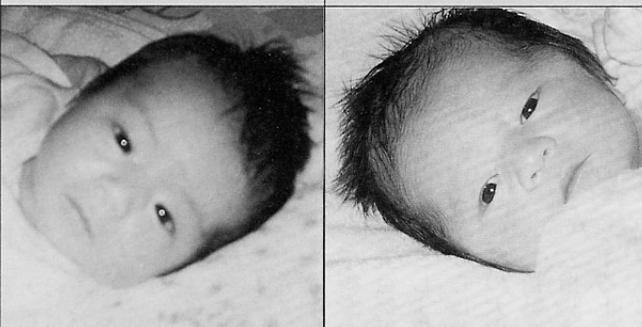


み き や  
弥 揮 也

まわし姿が似合うべがー  
(藤枝のじっちゃんより)

も も え  
百 恵

健康に育ってほしい  
(両親より)



も か  
萌 華

新緑のように健やかに育っ  
てほしい (父 一俊より)

りょう と  
稜 人

わんぱくでもいいたくましく  
育ってほしい(父 純一より)

## ♥かなぎ公民館ブライダル情報♥ HAPPY Wedding

この度めでたく「かなぎ公民館ブライダル」(企画・進行=事務局「金木町中央公民館」)によりカップルとなられた若いお二人をご紹介します。



1999.4.24

新郎 藤元泰志さん(喜良市)  
 新婦 野村しのぶさん(金木)

★ご結婚をご予定されている方は、お気軽に金木町中央公民館にご相談ください。すべて事務局が手配いたします。(☎53-3581) また、お二人のお名前と結婚記念日を刺しゅうした豪華桐箱入アルバムの記念品等々たくさんの特典があります。

## 伝言板

◎届いています  
 四月七日  
 みちのく銀行金木支店前  
 (腕時計)  
 四月十日  
 金木三軒町・酒のバリバリ前  
 (カギ付きキーホルダー)  
 心当たりの方は、金木警察署  
 署話し物係まで。  
 ◎係から  
 このコーナーを利用したい方は役場企画観光課まで。

この欄は、金木町に住所を有している方々を掲載しています。掲載を希望しない方は町民課窓口に届出の際申し出てください。

## 人口と世帯

	4月末現在	前年同月比
男	5,818人	△ 33人
女	6,378人	△ 61人
計	12,196人	△ 94人
世帯数	3,947	7